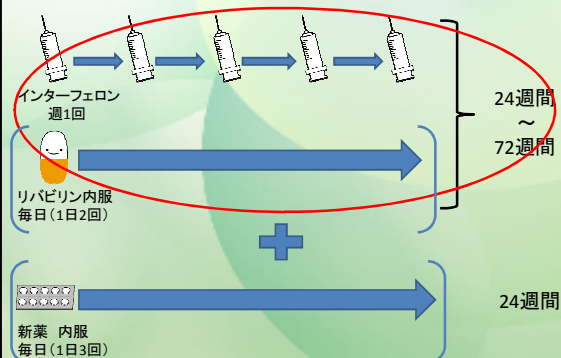


C型肝炎に対する インターフェロン治療の 副作用と注意点

大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部

最近のインターフェロン治療



副作用について

治療**初期**に出てくることが多い副作用

治療**中期以降**に出てくることが多い副作用

治療**期間中**に出てくることが多い副作用

治療初期に出てくる副作用



発熱・頭痛・関節痛・寒気(インフルエンザ様症状)

解熱鎮痛薬: 内服薬・坐薬



皮膚のかゆみ・発疹

抗アレルギー薬: 内服薬・塗り薬



食欲不振・吐き気

食事の工夫・水分補給・内服薬

治療中期で出てくる副作用



網膜症
眼の違和感

脱毛

甲状腺機能異常: むくみ・動機・汗を異常にかく

糖尿病・心臓病の悪化



精神症状
不眠・イライラ感・うつ症状



間質性肺炎
咳や微熱が続く



気になる症状があれば我慢せずに
主治医に報告をしましょう！！

治療中に出てくる副作用

血液成分の減少

ヘモグロビン: 貧血・めまい・立ちくらみ

白血球・好中球: 免疫力の低下(風邪をひきやすい・化膿しやすい)
感染予防(うがい・手洗い・マスクなど)に気をつけて

血小板減少: 出血が止まりにくい(鼻血・歯茎からの出血しやすい)
歯磨き・ひげそりなどは出血に気をつけて



インターフェロンの注意点

- ① インターフェロン治療中は**小柴胡湯**は服用しない
理由：副作用症状が強くなる恐れがあるため
ほかの漢方を服用する場合も念のため
主治医に確認をしてください。
- ② インターフェロン治療の中でも、
リバビリンを服用している方は、**避妊**をしましょう。
リバビリンには催奇形性を起こす副作用があり。
内服中・内服終了後しばらくの間は
パートナーの方とともに避妊をしましょう。

まとめ

副作用は患者さん個人によって、
出てくる症状・症状の重さが異なります。
出てきた症状は必ず主治医に報告しましょう。

インターフェロン手帳を使って、
体調の管理を記録し、普段の生活と治療を
快適に送れるようにしましょう。

